

平成26年度 県民カレッジの集いを開催しました。

アバンセでは、「県民カレッジ夢パレットさが」をより多くの方に知っていただき、生涯学習や社会参画への意識が高まるように、毎年「県民カレッジの集い」を開催しています。

平成26年11月30日(日)の「県民カレッジの集い」では、生涯学習をテーマにした楽しい寸劇「生涯学習にわか 県民カレッジってなんじゃろか〜？」と、探検家 関野吉晴さんをお招きしての講演会「グレートジャーニー ～挑戦・夢の見つけ方～」を開催しました。

「生涯学習にわか 県民カレッジってなんじゃろか〜」では、「生涯学習インストラクターの会・クリエイトさが」のみなさんに寸劇を通して、生涯学習や「知の循環型社会」の理念を楽しく、わかりやすくつたえていただきました。



受講者の方々からは、「学習の大切さを再認識した」「知の循環型社会という言葉を初めて知ることができた」「県民カレッジの仕組みを楽しく説明しており、わかりやすかった」などの言葉が寄せられました。

講演会「グレートジャーニー ～挑戦・夢の見つけ方～」では、探検家の関野吉晴さんに冒険と異文化体験についてお話しいただきました。



学生時代から南米を旅していた関野さんは、南米の先住民と日本人の顔つきが似ていることに興味を持ったそうです。それはアフリカに生まれた人類がヨーロッパ、アジアを通して南米まで渡っていった証拠であり、その道のりをたどる旅「グレートジャーニー」に挑戦するきっかけになりました。

キリンやゾウが生活しているサバンナを、自転車で走り抜けて行く関野さんの映像がスクリーンに上映されると、会場にどよめきが起こりました。

「成功ばかりの旅のように見えるけれど、実際はいくつもの失敗を重ねた上での成功だった。しかし失敗により多くの気づきを得ることができた」「グレートジャーニーが実現したのは、冷戦が終わり、アメリカ同時多発テロが起こるまでの短い平和な時代だったから」「知識として知っていることと、経験して実感していることは違う」などの言葉には、受講者のみなさんも考えさせられたようでした。

質疑応答では、旅の中で出会った少女のその後の人生や、60歳を超えた関野さんのこれからの活動など、

貴重な話もたくさん聞くことができました。

国際社会や科学の面から旅や人間を語るなど、穏やかで思慮深い話し方は、荒々しい探検家のイメージとは違った関野さんの一面に触れることができるひと時でした。



ホールホワイエでは、関野さんの旅の一部を紹介する写真を展示しました。また、講演後のサイン会では質問にも気さくに答えていただきました。

●参加者アンケートより抜粋

「自然を利用し、太古の知恵で旅を成功させたことに感動した」

「好奇心からではなく、弱かったために追い立てられるように人類の移動が起こったという話を聞いて、壮大な歴史を身近なものに感じた」

「若者が長期的な視点で考え、活動できる社会を作らなければいけないと感じた」

[<<戻る](#)

[↑このページの上部へ](#)

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

 [アクセス・交通機関のご案内](#)

 [お問い合わせ/ご意見・ご要望](#)

アバンセ

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんどの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで